



五島列島には今、51の教会がある

五島列島には今、いくつカトリック教会があるのだろうか。

よると五十一といふ。

久賀島にそれぞれ三つ、福江島に十三、福江島の四ヶ所北西にある嵯峨ノ島に一つの合わせて五十一。

野首教会の悲しみ

上五島・長崎巡礼(17)



藤屋侃士
(下松市幸ヶ丘)

232

その象徴ともいえるのが野崎島の野首教会である。野崎島は五島列島の北端にある小島で面積はわずか七・三平方キロメートル。こんな離島の中の離島にも開拓移民として隠れキリスト教徒は住み着き、明治十五年に最初の教会が建てられた。

世界遺産の暫定リスト「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の一つとして登録され、県の文化財にも指定されている野首教会。しかし悲しいかなそこには肝心の人がない。

私のような第三者が自分は便利な生活をしながら、過去の遺産があるからといってそこに人が住んでいてほしいというのは身勝手な言い分である。

(元山口放送取締役ラジオ局長)

迫害下で集落ごとに
結束して信仰を守り続
けたことの証だろう。
しかし、時とともに状
況は変化し、教会数も
信徒数も減少してい
る。

島には昭和三十年ごろまで六百五十人ばかりが住んでいたが、高度経済成長とともに離島の離島である野崎島の不便さから島を離れる

教会にとつてこれほど悲しい、寂しいことはない。しかし先祖がめ、迫害を逃れて五島列島という離島の、そのまた離島の野崎島で

たという。
教会のある八つの島の総面積は六百十四・一六平方キロ。周南市が六百五十六・〇九平方キロなので、周南市よりも狭いところに六十余の教会があつたのである。いくら交通の不便な時代とはいえ、近距離にもかかわらずたくさんのお寺が建てられたのは、自分たちの教会がほしいという意志の表れだったと思える。

会を改築する際にレンガ造りにすることが多くなり、明治四十一年に建て替えられた野首次教会をはじめ、前回紹介した青砂ヶ浦教会、同じ中通島にある大曾教会、福見教会、下五島の堂崎教会、楠原教会、井持浦教会はいずれも威風堂々たるレンガ造りである。



無人島になった野崎島にある野首教会